

横浜市庁舎建設タイムズ

最終号

令和2年4月

～1月末、建物が竣工しました～

発行：横浜市総務局新市庁舎整備担当、建築局新市庁舎整備担当
作成編集協力：竹中・西松建設共同企業体



平成29年8月1日に着工した市庁舎移転工事は、令和2年1月末に無事竣工を迎えました。竣工以降は、什器設置や移転作業が順次始まり、6月末の全面供用開始に向けて準備を進めています。

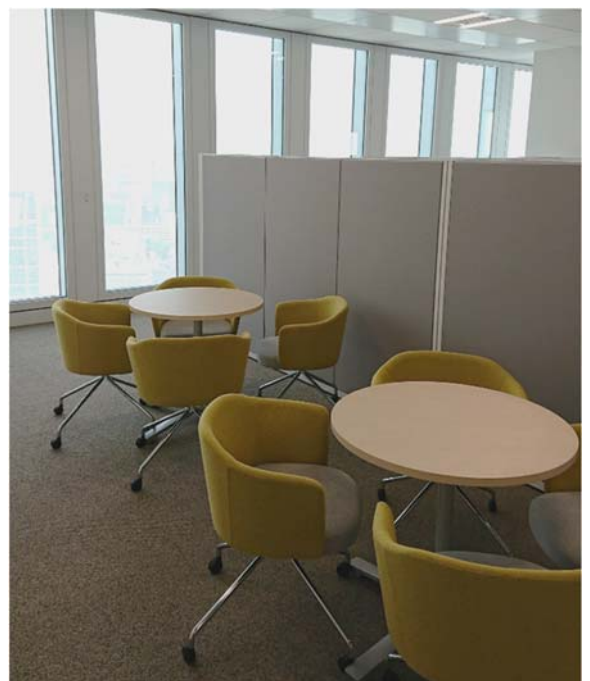
職員の執務室は壁や間仕切りを設けず、デスク等の什器も共通化することで、人員の増減にも柔軟に対応できるレイアウトとしています。また、外光が入る明るい空間に、来庁者をお迎えする応接・相談スペースなども設けています。



執務室



窓口カウンター（執務室内）



応接・相談スペース

本会議場は白い天井や木の壁など前議場の雰囲気を残しつつ、床は海、波をモチーフに青を基調とし、横浜らしさを表現しています。傍聴席は前議場より100席多い216席とし、誰もが安心して傍聴することができるよう親子傍聴室も新設しました。

また、すべての委員会室に傍聴席を新設し、開かれた議会を実現しています。



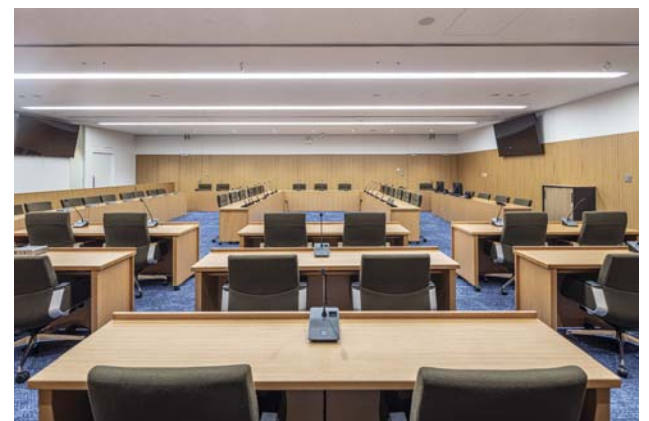
本会議場全景



議員席



親子傍聴室

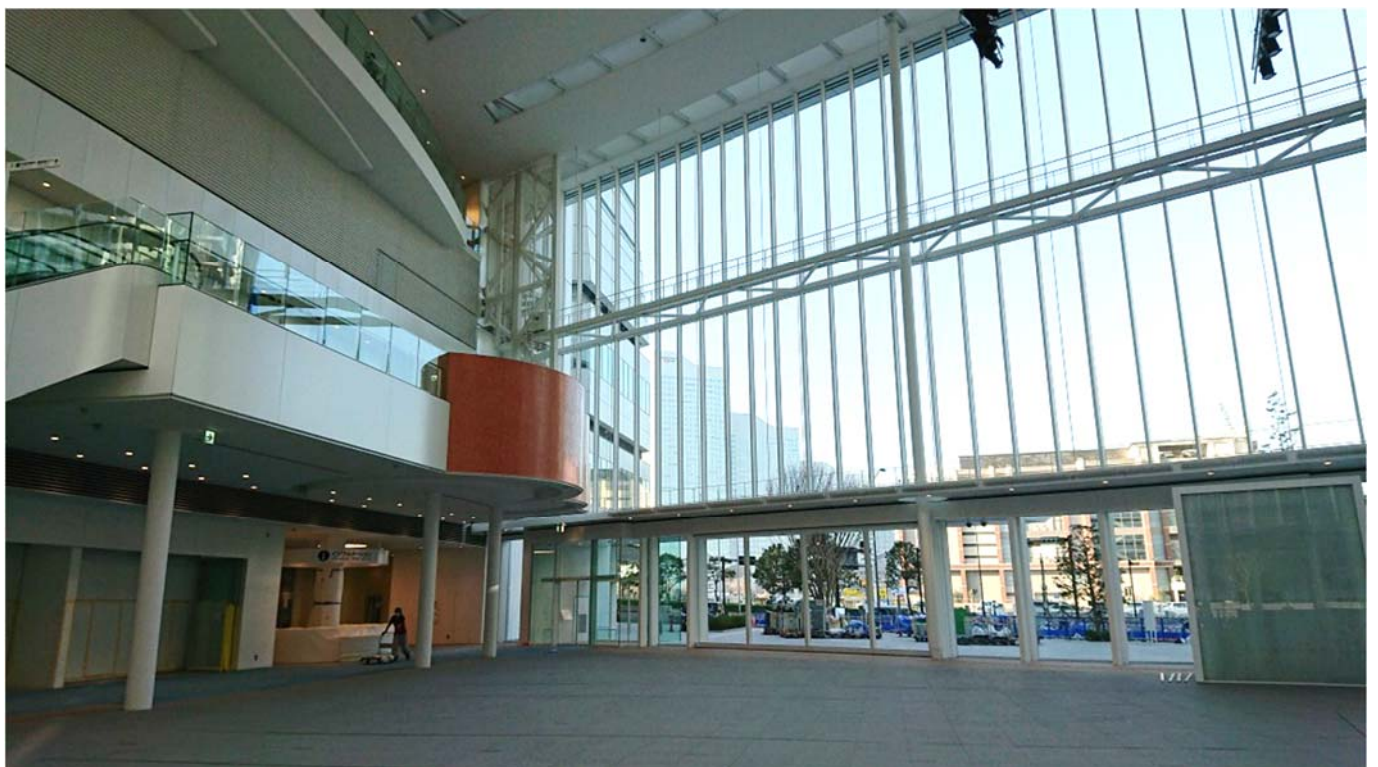


委員会室

三層吹き抜けのアトリウムは、天井のトップライトやガラス張りの壁面から光が注ぐ開放的な空間となっています。また、昇降ステージや270インチの大型スクリーンなどの設備を備え、スポーツを観戦できるパブリックビューイングや演奏会などが開催可能です。



アトリウム全景（東側を望む）



アトリウム全景（北側を望む）

1階から3階の低層部には、商業施設や市民協働推進センター、建築・開発関係の行政資料の閲覧・収集が可能なよこはま建築情報センター、待ち合わせやくつろぎの場として利用できる市民ラウンジなど、様々な市民利用施設を配置しています。

また、3階は市役所と議会のエントランスロビーとなっています。



市民協働推進センター（1階）



よこはま建築情報センター（2階）



市民ラウンジ（3階）



市役所エントランス（3階）



議会エントランス（3階）

外構の植栽は、サクラや多様な草花を植え、四季の変化を楽しむことができますとともに、高木や低木を組み合わせ、立体的な空間を作っています。

また、当該敷地から出土した遺構も外構となじませて展示し、趣きを演出しています。



水辺プラザ（敷地北側外構）



敷地南側外構



水辺テラス（敷地西側外構）



敷地東側外構

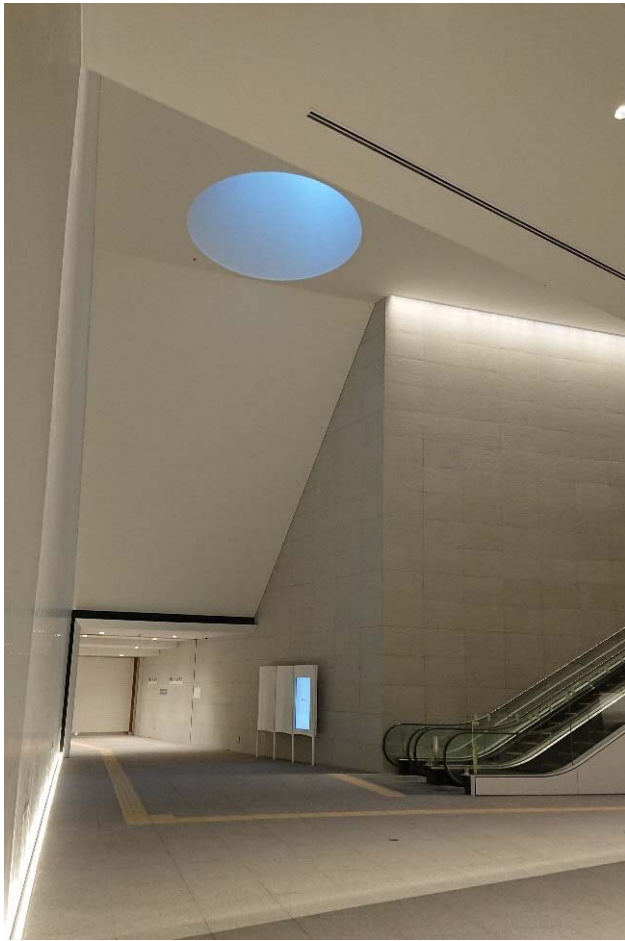


遺構展示

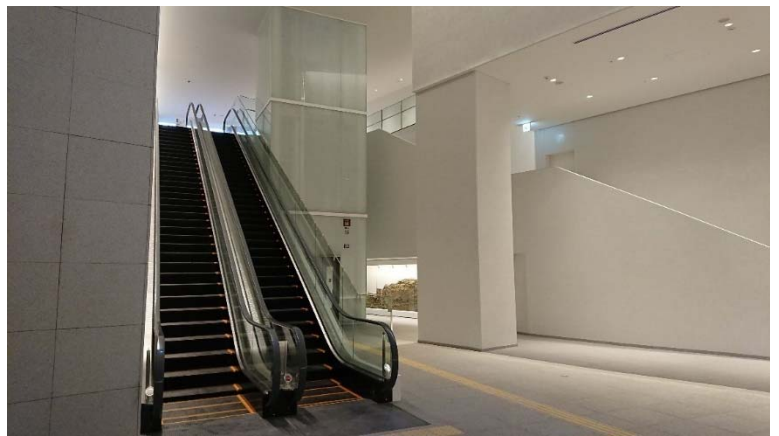
完成レポート

馬車道駅・さくらみらい橋接続部

新市庁舎は地下2階で馬車道駅に直結し、桜木町駅方面からも現在建設中の大岡川を横断する「さくらみらい橋」と2階で接続します。建物のエントランスを各方面へ設け、どこからでもアクセスしやすい利便性の高い計画となっています。



馬車道駅接続通路（馬車道駅側を望む）



馬車道接続通路（地下1階側を望む）



水辺デッキ（さくらみらい橋側を望む）

最後のご挨拶

平成29年8月に着工してから約2年6か月、現場の状況や施工方法など新市庁舎の建設に関する情報を「建設タイムズ」として皆様にお届けしてきました。時には、専門的な内容も含まれていたかもしれませんが、これも建設に携わる人たちの、新市庁舎に対する熱い思いからとご理解頂けたら幸いです。

この度、無事に竣工を迎えることができ、新市庁舎の建設にご尽力・ご協力頂いた皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。竣工後は、市民の皆様にも永く愛される市庁舎となるよう、運営して参ります。長い間建設タイムズをご覧頂きありがとうございました。

～お問い合わせ窓口～

横浜市総務局総務部管理課新市庁舎整備担当／建築局公共建築部施設整備課新市庁舎整備担当
〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

E-mail: so-chosyaplan@city.yokohama.jp TEL: 045-633-3912 FAX: 045-664-2501

URL: <http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/>